

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	27 -	事業名	家庭教育事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	------	-----	--------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	1	健全な家庭づくりの支援	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	社会教育総務費
		政策分類	-		大事業	5	家庭教育事業
	その他(関係法令、要綱等)		教育基本法第10条、第11条				
事業開始の背景、経緯等		事業開始の背景は、法令の趣旨のとおりであり、現在も家庭教育は施策として取り組むべき重要なものである。経緯は、記録のある範囲では、昭和59年度から実施が確認されている事業で、平成12年度から現在までは市内保育園保護者会、幼稚園保護者会及び市内小中学校PTAと市との協働で事業を実施している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内保育園保護者会、幼稚園保護者会及び市内小中学校PTAと市との協働で、講演会、勉強会等を開催し、親子のふれあい、保護者同士の交流や地域の仲間づくりの機会を作る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 保育園保護者、幼稚園保護者及び小中学校PTA会員					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 親と子が明るく、楽しい、対話のある家庭を築けるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 家庭教育事業	現状維持	④			
	② 家庭教育推進事業	現状維持	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			570	600
決算						555	546	
人件費(B)	千円	決算			993	993		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			1,548	1,539		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 幼児期家庭教育推進事業の開催数	回	目標	21	21	21	21	21
			実績	20	19	20	20	
	B 小中学校家庭教育推進事業の開催数	回	目標	18	20	20	20	20
			実績	19	16	19	18	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 保育園及び幼稚園保護者会が、明るい家庭づくりにつながる事業を主体的かつ計画的に実施することを目標とする(各団体2回以上)。								
B 小中学校PTAが明るい家庭づくりにつながる事業を主体的かつ計画的に実施することを目標とする(各団体2回以上)。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、東郷町、みよし市及び豊明市でほぼ同じ内容を実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 各団体とも年2回以上の目標を概ね達成している状況が続いている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 各団体とも年2回以上の目標を達成している状況が続いているが、自発的に3回以上の事業を実施する団体が見られない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 各団体とも事業の趣旨を概ね理解し、事業を実施していることから継続していくが、自発的に年3回以上の事業を継続的に実施する団体が出現するよう促していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 事業の趣旨を理解した活動が継続し、自発的に事業を継続して年3回以上実施する団体が1団体以上となるようにしたい。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		家庭教育事業										
番号	①	事務事業名	家庭教育事業		款	9	項	4	目	1	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		昭和59年度以前から			終了（予定）年度		—					

1. 事務事業の目的

対象・手段	（誰、何に対し、何をどのように実施しているのか） 尾張地区で開催される「子育て支援を考える交流会」などのイベントに参加する旅費の支払をする。
意図	（対象をどのような状態にしたいか） 適正な旅費の支払をする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算	/	/	/	7	7
		決算	/	/	/	1	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	回	目標					
		実績					
	回	目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

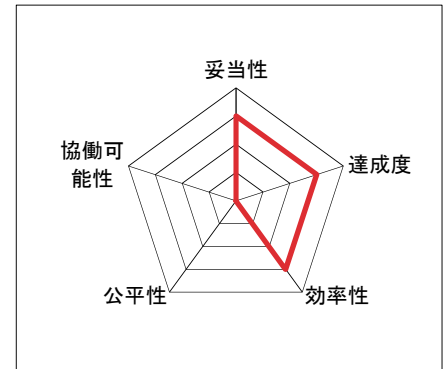
（制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など） —

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞ 新規行政評価対象 （何をどのような状態に改善したのか） —

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



【アピールポイント】

（活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど） —

【ウィークポイント】

（活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど） —

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

（改善の方法、今後の具体的展開など） （事務的経費）

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		家庭教育事業										
番号	②	事務事業名	家庭教育推進事業		款	9	項	4	目	1	大	5	中	2
事務事業の期間		事務事業開始年度		昭和59年度以前から		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	保育園保護者会、幼稚園保護者会及び小中学校PTAに対して、講座、勉強会、講演会、観劇会等の実施事業の講演料の一部を助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	継続的に事業実施できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			570	600	870
		決算			555	545	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
幼児期家庭教育推進事業の開催数	回	目標	21	21	21	21	21
		実績	20	19	20	20	
小中学校家庭教育推進事業の開催数	回	目標	18	20	20	20	20
		実績	19	16	19	18	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

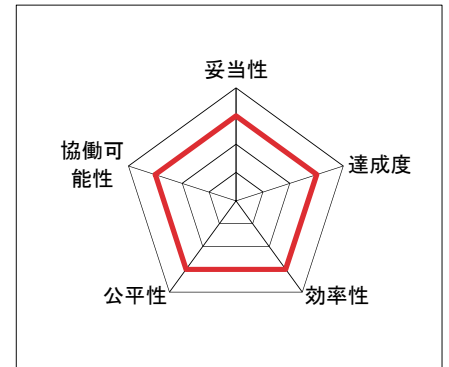
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
尾張旭市、東郷町、みよし市及び豊明市ではほぼ同じ内容を実施。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
(何をどのような状態に改善したのか)

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
事業実施は各団体が自発的に行っている。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
各団体が自発的に事業を行っているが、事業の質向上のために、行政側のサポートもする必要がある。

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
家庭教育力の向上を目指すため、関係団体と事業実施のための連携を継続していく。